

shab◎n・shingo-kunのマニアな深いお話

第18回 ライブはお客様との距離が大事！

shab◎n・shingo-kunが綴るshab◎nの裏側マニアな話！

メインはコダワリの音響関係の話に始まり、多岐に渡る気になる人には気になる話をネットの誌面で語り尽くします(^ ▽ ^)

今年もついにと言いますか、あつという間に7+8月号となりました。

今年も後半という事ですが、マニアの深い話もだんだんと深みにはまって行ってます！

shab◎n ism Hour のコーナーも絶好調が続けていますが、その中の決め台詞... どーでも良い人にはどーでも良いこと...それが“Ota倶楽部、OtaKu-Love”

これ、ナカナカ良いなと思っていて実はお気に入りの決め台詞なんです。

「開運何でも鑑定団」で時々ある、生前、主人が部屋や物置イッパイに保管していた機材の鑑定...それはオーディオ機材だったり、貴重なコレクションだったり...でも残った家族にとっては興味の無いガラクタの塊...マニアの大切にすることやモノってコンな事はよくある話と思います。今日は前置きが長いですが...先日、東京を中心に活動する音響エンジニアの知人から連絡があって、「優れもののフィルターが開発されたので使ってみて欲しい」早速送ってもらい確かめてみました。

右下の白い写真で、加工前は白い何の変哲も無い1枚の布切れでした。(左上の黒いのがノーマル)

写真のように加工してマリ子さん愛用のマイクに仕込んで... (このマイク Beyer M-500Nも生産完了のマニアなマイク...)

早速、野外ライブで実践です。

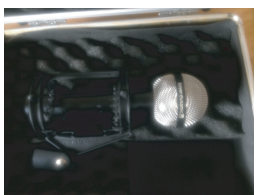
感想として従来のフィルターに比べると驚くほどポップノイズ、吹かれが無い...

歌うマリ子さんの感想で、「声の低い音が自然に伸びて今までより高音域がおとなしくなった感じ...」

ささやかな事ですがこれこそマニアックの醍醐味では

...と感じた出来事でした。別に最新の機材を導入したでもなく、高い機材を使って...でもなく外見は全く変化無しだし。でも一度使えば従来のモノでは満足できない...

今後もこの仕様のマイクを愛用して行くので



興味のある方はライブの場でお声掛けくださいね。

それから、6月になって演奏の機会が増えてきます。

いつでもどこでもshab◎nのライブの音響周辺機器は同じです。マイクもミキサーもモニタースピーカーも常に同じものを使います。

演奏者にとっていつもの環境ってとても重要だと思います。よくマリ子さんが聴かれる事で「shingo-kunってなんで必要なん？」これもマニアックなお話ですがどうでも良い人にはどうでも良い事...マリ子さんも上手く説明できなくて困るそうです。

最初に紹介したポップスクリーンですが岡山で先日開催された岸田敏志さんのデビュー40周年コンサートでも岸田さんのマイクにしっかり使いました。



外観では全く変わらないのがちょーお洒落!! ちなみに岸田さんの愛用ギターはデビューとともに愛用の銘機マーチンD-45...

40年前もかなり高価でしたが、今となると値段ではないお宝ですね。

ところで岸田さんの音響を担当して10年以上経ちました...音響会社にいた頃、サポートで音響や公開録音を担当した頃を思えば夢のような事を経験しています。

岸田さんが当初、「僕の曲って知ってる？」と言ったのが鮮明に思い出されます。

音響を仕事にして本当に良かった...と思った瞬間です。その後、岸田さんのコンサートを観に来たマリ子さんがほおずきの季節を気に入り、岸田さんの許可のもと、公認カバー曲として演奏しているのも不思議な縁です。

この曲はその後、YouTubeに公開した事で、今に至る福井県三国での毎年のライブに繋がりました。余談ですが、ギター演奏は昔からの知人荒木博司さんに頼んだら、その人がなんと岸田さんの元バンマスで「何百回、この曲弾いたかなあ...」と感慨深げに言っていました。

物事は予定通りには進みませんが、思いがけないハプニングに遭遇する...好きを続けてこそ...それが生きる喜びだなと思う今日この頃です。

先日、5日(日)、初めて四国の徳島でライブ。小さなcafeでのライブでしたが、あらためてお客様との近さを感じることができてメッチャ好いライブができました。

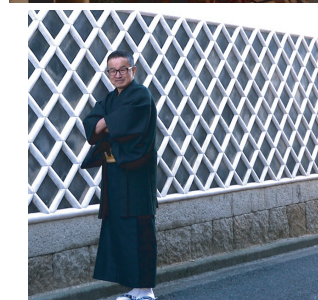
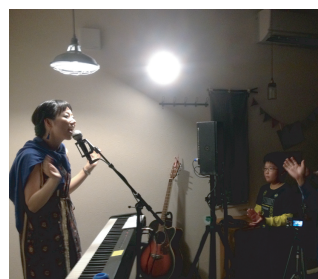
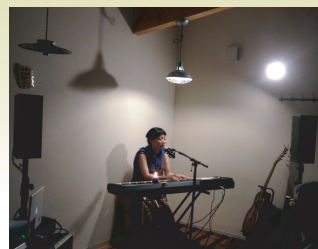
どこでのライブもいつものshab◎nの機材。

アンコールに大興奮のマリ子さん...お客様とともにスタンディング!!

会場のSpoon Cafeのオーナーのグループ“BANZ?(バンザイ)”

これからの活動も集客数ではなく、お客様と近い距離で空気感、雰囲気大切にできるライブを重ねて行きたいとあらためて思いました。

特に音響の音質にはこれからも拘りぬいたライブで夏を乗り切るゾー!!!



PROFILE

shingo-kun

8月21日、広島県三原市生まれ

岡山在住、0型

音響エンジニア

ポップスユニットshab◎n(シャボン)のメンバー

世界でも稀なMCで、喋るサウンドエンジニア

毎月10日更新!

RadioCamnet channel-H

shab◎n・marikoの「shab◎n-ism Hour to World」

(シャボニズムアワー)」

